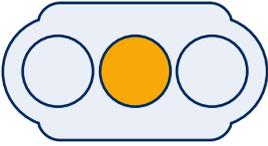
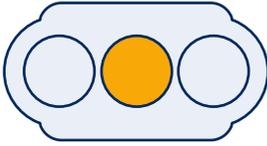
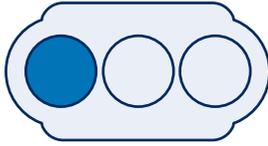


見通しの表示： ● 強気 ● 中立 ● 弱気 矢印：対前月での見通しの引き上げ/引き下げ

株式	国債	社債	コモディティ（商品先物）
			
インフレの減速や底堅い経済は株式の支援材料ではあるものの、バリュエーションは割高感が増していることから、中立の見通しを維持しています。	逆イールド(短期金利が長期金利を上回る状態)はネガティブ・キャリーを意味することから、中立の見通しを維持しています。	強気の見通しを維持しており、中でもキャリアの水準が相対的に魅力的であることから、欧州投資適格債券を愛好しています。	エネルギーと農作物セクターの供給がタイト化し、価格の上昇圧力となると考えることから、見通しを強気に引き上げました。

資産クラス	分類	見通し
株式	米国	 米国経済は底堅く、インフレは減速していますが、債券市場や他の株式市場と比べ、割高感が強くなっています。
	欧州	 製造業の減速に加え、欧州中央銀行(ECB)のインフレ抑制や賃金インフレの制限への取り組みを背景に、弱気の見通しを維持しています。
	日本	 デフレの回避やコーポレートガバナンス改革は長期的に追い風となる可能性があります。
	アジア (除く日本)	 中国の見通しは中立を維持しています。中国の経済再開による回復が減速しているほか、世界の需要の減速が見込まれます。中国以外のアジアについては、慎重な見通しを維持しています。
	新興国	 多くの新興国はインフレ鎮静化に向かっていますが、株式市場は世界の需要の減速に影響を受ける可能性が大きいことから中立の見通しを維持しています。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

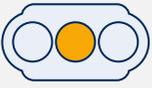
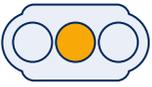
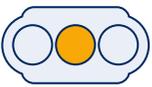
シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

シュローダー・マルチアセット・ビュー グローバル市場見通し

2023年
7月

資産クラス	分類	見通し
国債	米国	 逆イールド、ネガティブ・キャリーとなっているほか、米連邦準備制度理事会 (FRB)は、まだ利上げを終了していないと考えることから、中立の見通しを維持しています。
	欧州 (ドイツ国債)	 欧州でコアインフレ低下の兆候が見られる一方で、ドイツ国債は逆イールド、ネガティブ・キャリーであることから、中立の見通し維持しています。
	新興国 (現地通貨建て)	 新興国のインフレ率は減速しており、インフレ目標に近い水準まで低下している国もあります。特にラテンアメリカは実質利回りがプラスであることから選好しています。
	インフレ連動債	 中立の見通しを維持していますが、インフレヘッジの役割を考慮し、名目債券より、インフレ連動債を選好しています。
投資適格社債	米国	 スプレッド水準は割高で、米国のバリュエーションは欧州と比べて割高であることから、中立の見通しを維持しています。
	欧州	 欧州の高クオリティのクレジットの選好を維持しています。スプレッドは魅力的であり、ポジティブ・キャリーとなっています。
	新興国 (米ドル建て)	 ソフトランディングとなった場合、新興国債券が選好されますが、明確な兆候が見られるまで、中立の見通しを維持します。
ハイイールド社債	米国	 株式市場のセンチメントが追い風となり上昇し、スプレッドは縮小したことから、バリュエーションは割高となっています。
	欧州	 欧州のバリュエーションは米国よりも魅力的な水準となっています。より高いクオリティのクレジットを選好し、中立の見通しを維持しています。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

資産クラス	分類	見直し
コモディティ (商品先物)	エネルギー	 サウジアラビアやロシアの減産の影響で、今後市場では供給不足が見込まれます。グローバルで在庫が減少し、価格上昇の圧力となると考えることから、見直しを強気に引き上げました。
	金	 労働市場の減速の兆候が見られた場合、金の支援材料となる一方で、高い金利やドル高は重しとなることから、中立の見直しを維持しています。
	産業用金属	 経済成長の不透明感や、中国の経済政策の明確な効果が見られていないことから、中立の見直しを維持しています。

資産クラス	分類	見直し
通貨	米ドル	 魅力的なキャリーとヘッジの役割がポートフォリオでは有益である一方で、米金利はピークに近づいています。
	ユーロ	 経済成長やインフレ指標などのマクロ経済指標は、ユーロにとって下方圧力となる一方で、さらな利上げの可能性を踏まえ、中立の見直しを維持しています。
	日本円	 安全通貨としての見方がある一方で、キャリーの低さから、中立の見直しを維持しています。

出所：シュローダー。社債に関する見直しは信用スプレッド(デレージョン・ヘッジを前提)の動きに基づくものです。ユーロと日本円は対米ドルの見直しとなります。

【本資料に関するご留意事項】 本資料は、情報提供を目的としてシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、いかなる有価証券の売買の申込み、その他勧誘を意図するものではありません。本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されており、内容の正確性あるいは完全性については、これを保証するものではありません。本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。シュローダー/Schrodersとは、シュローダーplcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会